

# オホーツクの農業

—AGRICULTURE—

オホーツク地域は、小麦やてん菜、馬鈴しょを主体とする畑作やたまねぎ、酪農・畜産など広大な土地資源を生かした農業が展開されています。

農業産出額は、十勝に次いで道内2位の規模となっており、食料供給地域として重要な役割を担っています。

また、気象や土地条件などの違いにより、斜網、北見、東紋、西紋の4地域に大別され、それぞれの条件を活かした、地域ごとの特色ある農業が営まれています。

農家戸数の減少や高齢化が進行する中、低コスト・省力化生産や農畜産物の付加価値向上、地産地消の拡大に向けた取組が広く行われています。



てん菜の生育風景

## ■ 本道農業に占める管内農業の割合

区分	単位	オホーツク	北海道	対全道比率
農家戸数	戸	4,641	44,433	10.4 %
販売農家	戸	4,306	38,086	11.3 %
専業農家	戸	3,326	26,597	12.5 %
兼業農家	戸	980	11,489	8.5 %
自給的農家	戸	335	6,347	5.3 %
専業農家の割合	%	71.7	59.9	119.7 %
農業就業人口	人	12,508	96,557	13.0 %
耕地面積	ha	166,300	1,145,000	14.5 %
田	ha	1,610	222,300	0.7 %
畑	ha	164,700	922,700	17.8 %
戸当たり耕地面積(参考)	ha	35.8	25.8	138.8 %
作付面積				
水稲	ha	1,010	103,900	1.0 %
小麦	ha	28,700	121,600	23.6 %
馬鈴しょ	ha	16,700	51,300	32.6 %
てん菜	ha	23,500	58,200	40.4 %
大豆	ha	2,300	41,000	5.6 %
たまねぎ	ha	7,765	14,600	53.2 %
収穫量				
水稲	t	5,220	581,800	0.9 %
小麦	t	139,600	607,600	23.0 %
馬鈴しょ	t	644,000	1,883,000	34.2 %
てん菜	t	1,509,000	3,901,000	38.7 %
大豆	t	5,690	100,500	5.7 %
たまねぎ	t	474,560	797,200	59.5 %
飼養頭羽数				
乳用牛	頭	109,363	779,400	14.0 %
(1戸当たり)	頭	121.5	123.5	98.4 %
肉用牛	頭	69,466	516,500	13.4 %
(1戸当たり)	頭	214.4	197.9	108.3 %
豚	頭	70,177	630,900	11.1 %
(1戸当たり)	頭	1,799.4	2,990.0	60.2 %
採卵鶏	千羽	269	7,021	3.8 %
生乳生産量	t	560,175	3,892,895	14.4 %

(農林水産省「農林水産統計」・「2015年農林業センサス」・「オホーツク総合振興局調べ」)

- 農家戸数及び農業就業人口は「2015年農林業センサス」
- 耕地面積・作付面積・収穫量は平成29年「農林水産統計」
- 飼養頭羽数は平成29年農林水産省「農林水産統計」・「オホーツク総合振興局調べ」
- 生乳生産量は平成29年農林水産省「農林水産統計」・「オホーツク総合振興局調べ」

## ■ 地域別農業の特色

区分	管内計	斜網地区	北見地区	東紋地区	西紋地区
農家戸数(戸)	4,641	2,195	1,426	666	354
耕地面積(ha)	166,300	74,290	35,680	26,200	30,150
1戸当たり耕地面積(ha)	35.8	33.8	25.0	39.3	85.2
農業産出額(百万円)	189,910	87,510	47,330	29,560	25,520
うち耕種(百万円)	100,460	59,140	35,180	5,260	880
うち畜産(百万円)	89,460	28,370	12,150	24,300	24,640
1戸当たり農業産出額(千円)	40,920	39,868	33,191	44,384	72,090
10a当たり農業産出額(千円)	114	118	133	113	85

(農林水産省「2015農林業センサス」・「農林水産統計」)

注1)：農家戸数は「2015年農林業センサス」

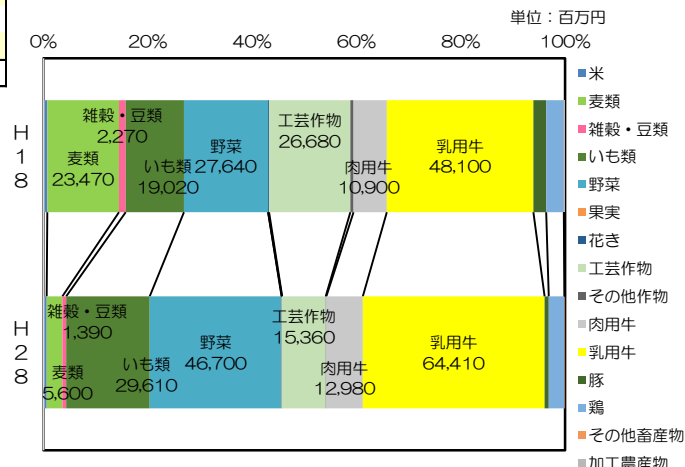
耕地面積は農林水産省「農林水産統計(平成29年市町村別耕地面積)」

農業産出額は「平成28年市町村別農業産出額(推計)」

1戸当たり耕地面積及び農業産出額、10a当たり農業産出額は上記資料より参考値として算出。

斜網地域 (網走市・大空町・美幌町・津別町・斜里町・清里町・小清水町)	てん菜・馬鈴しょ・麦類を中心に機械化された大規模な畑作農業を展開する地域であり、斜網地域だけで管内農業産出額の耕種部門の59%を占めます。
北見地域 (北見市・訓子府町・置戸町)	たまねぎ等の野菜を基幹として、水稲・酪農などの生産性の高い農業を展開する地域で、特にたまねぎは全道生産量の42%を占める大産地です。1戸当たり耕地面積は25.0haと狭いものの、10a当りの農業産出額は133千円と管内トップです。
東紋地域 (佐呂間町・湧別町・遠軽町)	酪農を基幹として、たまねぎ・かぼちゃ・フロッキー・アスパラガス等の野菜や青しそ等の特用作物などに取り組み、工夫をこらした農業を展開する地域です。1戸当たり耕地面積は39.3haと酪農地帯としては狭く、1戸当りの農業産出額は管内平均と同程度です。
西紋地域 (紋別市・滝上町・興部町・西興部町・雄武町)	草地等の土地基盤を活用した大規模な酪農を展開しており、1戸当りの耕地面積は85.2haと管内では最も大きい地域です。農業産出額に占める畜産の割合は97%で、1戸当りの農業産出額は7千2百万円と管内平均を大きく上回ります。

## ■ 作物別農業産出額の推移



(農林水産省「平成28年市町村別農業産出額(推計)」)

管内の森林面積は、769千haで全道森林面積の14%を占め、道内の主要な木材生産地となっています。

所管別では国有林56%、道有林14%、一般民有林30%となっており、国有林、道有林は天然林の割合が高く、一般民有林は人工林の割合が高くなっています。

近年、一般民有林のカラマツ人工林を中心として資源が成熟してきており、道産材に対する需要が高まっています。森林の伐採が進む一方で、造林されずに放置される伐採跡地が増加し、大きな課題となっていることから、充実した人工林の適正な資源管理や環境に配慮した森林施業を推進しています。

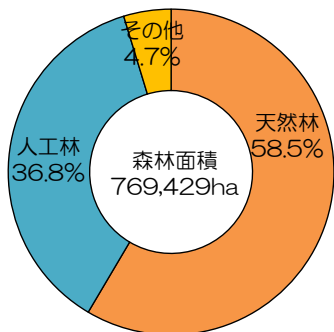
木材の加工を担う木材産業は、製材工場をはじめ集成材工場、道内有数の合板工場などが立地しており、豊かな森林資源を背景として地域経済の発展を支えています。

また、管内では森林認証を取得する動きが活発化してきており、管内森林面積に占める認証森林の割合は、82%にも及んでいます。環境に優しい持続可能な森林経営を通して、林業の活性化や地域ブランドの確立が期待されています。



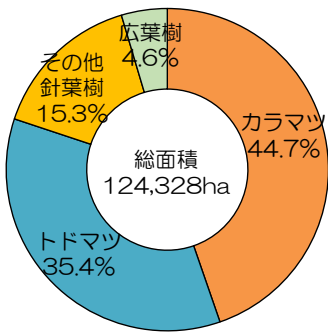
森林認証を取得し、持続可能な森林経営が行われている森林（紋別市）

## ■形態別森林面積



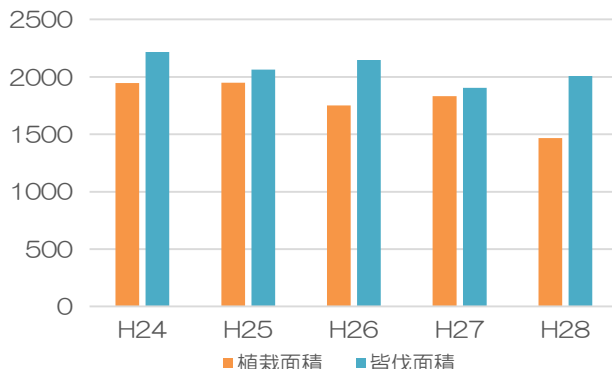
(平成28年度北海道林業統計)

## ■一般民有林人工林の樹種別面積比率



(オホーツク総合振興局林務課調)

## ■管内一般民有林の造林・皆伐面積



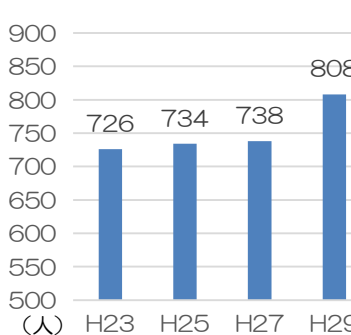
## ■全道林業に占める管内林業の割合

区分	管内	全道	対全道比 (%)
森林面積 (ha)	769,429	5,538,470	13.9 %
国有林	430,520	3,062,064	14.1 %
道有林	108,128	608,032	17.8 %
一般民有林	230,780	1,868,374	12.4 %
森林蓄積量 (千m <sup>3</sup> )	142,291	792,986	17.9 %
針葉樹	91,240	416,421	21.9 %
広葉樹	51,051	376,565	13.6 %
造林面積 (ha)	1,733	9,304	18.6 %
林産物生産量			
素材 (千m <sup>3</sup> )	939	4,217	22.3 %
製材 (千m <sup>3</sup> )	222	865	25.7 %
合板 (千m <sup>2</sup> )	53,482	60,536	88.3 %
単板 (千m <sup>2</sup> )	100,901	107,085	94.2 %
チップ (千m <sup>3</sup> )	322	1,647	19.6 %
集成材 (千m <sup>3</sup> )	13	35	36.7 %

(平成28年度北海道林業統計 林産物生産素材管内分は林一ツ総合振興局林務課調)

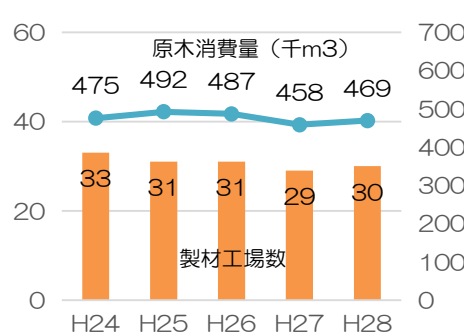
(注) 国有林には林野庁所管以外も含む。造林面積には、天然更新を含む ※合板は4mm換算、単板は1mm換算

## ■管内林業労働者数



(平成29年度林業労働実態調査)

## ■管内製材工場数及び原木消費量



(オホーツク総合振興局林務課調)

## ■一般民有林の森林資源の推移

年度	総数		人工林		天然林		無立木地面積 (ha)
	面積 (ha)	蓄積 (千m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	蓄積 (千m <sup>3</sup> )	面積 (ha)	蓄積 (千m <sup>3</sup> )	
H24	231,469	41,394	126,329	27,843	96,329	13,551	8,811
H25	231,396	41,670	126,029	28,039	95,984	13,631	9,383
H26	231,316	41,914	125,403	28,144	96,264	13,770	9,649
H27	231,132	42,098	124,991	28,214	96,709	13,884	9,433
H28	230,780	42,205	124,328	28,229	96,575	13,976	9,878

(平成28年度北海道林業統計 (蓄積分はオホーツク総合振興局林務課調))

# オホーツクの水産業

—FISHERY—

管内の水産業は、オホーツク海沿岸海域を漁場とするほたてがい桁網漁業やさけ定置網漁業、沖合海域を漁場とする沖合底引き網漁業を中心に営まれています。

平成29年における管内の漁業生産は全道の20%以上を占めており、数量で18万トン、金額で630億円となっています。

北海道のほたてがい漁業は、持続可能な漁業で獲られた水産物であることを証明する国際認証である「MSC認証」を取得しているほか、管内の海域はほたてがいのEU向け輸出生産海域として指定を受けてます。

また、管内では秋さけについてもEU輸出に向けた出荷体制の整備が進められているなど、国際市場の開拓や、国内水産物の消費拡大に向けた取組が積極的に行われています。



秋さけの陸揚風景

## ■管内の漁業生産(平成29年)

区分	主要魚種	ホタテガイ	サケ	スケトウダラ	タラ	ケガニ	その他	合計
管内	漁獲量(t)	104,271	24,838	13,692	5,779	568	30,542	179,690
	漁獲高(百万円)	24,232	26,989	1,101	928	2,218	7,560	63,028
全道	漁獲量(t)	282,256	55,274	119,030	30,569	2,001	365,103	854,233
	漁獲高(百万円)	74,615	57,925	10,253	8,447	7,782	119,519	278,541

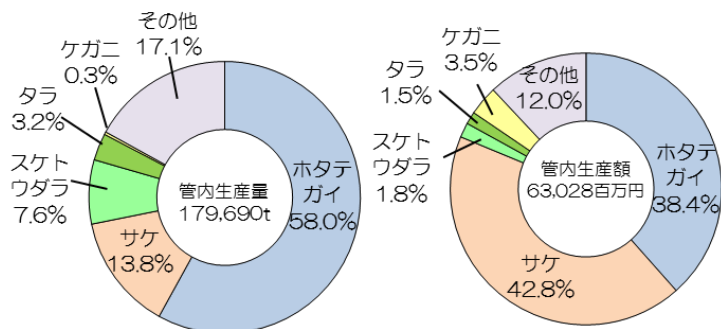
(平成29年水産現勢)

## ■管内の漁業概要

区分	経営体数(戸)	就業者数(人)	漁港数(港)	港湾数(港)	漁船数(隻)
管内	885	3,480	第1種 11 第2種 6 第3種 0 第4種 4 計 21	2	2,125
全道	12,882	29,652	第1種 167 第2種 38 第3種 18 第4種 20 計 243	41	24,741

(「2013年漁業センサス」、「北海道の漁港一覧」、「平成29年漁船統計」)

## ■管内主要魚種の生産量・生産額構成比(平成29年)



## ■漁業生産額・生産量の推移

